



**「飯島喜美」講演会、大盛況** 3月17日海匝支部主催、藤田廣登さんの「飯島喜美」講演会、同盟千葉県本部の予想をかるかに超えた82名もの方々が集まった。誕生したばかりの海匝支部を中心とした地元の方々の奮闘がうかがえる。反戦平和と女性労働者の権利実現の為に青春をかけてたたかった飯島喜美を生んだ海匝地域。地元の方々はきっと、飯島喜美顕彰碑建立と劇映画『闘争／死 飯島喜美の不屈の青春(仮題)』の成功させるために渾身の力を発揮したのだ。飯島喜美がどんなに喜んでいることか目に浮かぶようだ。  
(写真・小松敦、文・七里一司)

1月に誕生した国賠同盟海匝支部主催の『飯島喜美』講演会が3月17日、あさひ市民センターで開催され、県内各地から82名が参加しました。  
講演会は、松木源太郎海匝支部長(旭市議)の主催者あいさつ、藤田廣登さんの記念講



治安維持法国賠同盟  
千葉県本部事務局長  
小松 敦

3月17日  
あさひ市民センター  
県内各地から  
82名参加  
『飯島喜美』  
講演会

国賠同盟海匝支部主催

『飯島喜美』

講演会

演、桂壮三郎監督から映画化の取り組み、小松実千葉県本部会長が閉会あいさつを行いました。

藤田廣登さんが講演

「未来を信じた女性たちー飯島喜美の不屈の青春」

藤田廣登さんは「未来を信じた女性たちー飯島喜美の不屈の青春」と題して講演。

「日本のあるいは世界的な革命家として頑張ってきた喜美さんをもう一度この地から蘇られていく。みんなでやりぬいていく。この出発の日には今日はしたい」と訴えました。

栃木刑務所から届けられた「キミシス(喜美死す)」の電報に、悔しさを忘れないために日めくりのカレンダーを貼付けたこと。13人きょうだいの長女の喜美に、生活は苦しい中でも当時4年で終わる小学校と6年の尋常高等小学校があった6年のほうに入れた。そして  
(次ページにつづく)



千葉県版

NO.430

2024年4月15日

発行所  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
千葉県本部

〒260-0854

千葉市中央区

長洲1-10-8

自治体福祉

センター1階

電話

090-7909-0849

(小松 敦)

FAX

043-441-5094

Eメール

a-komatu@jk9.

so-net. ne. jp

千葉県「版」編集部

連絡先 七里一司

電話・FAX

047-314-8714

(前ページのつづき)

様々な資料をみんな喜美のために保管していたなど、父・倉吉さんとのやり取りが詳しく紹介され、参加者に感動を与えました。

喜美は15歳で東京モスリン亀戸工場で働きます。工場は2交代12時間の苛酷な労働と低賃金、強制的な天引き預金、監獄のような寄宿舎生活、喜美は労働運動の中核となりストライキを指導する立場になります。そして19歳のとき、

ロシアで開催された労働組合の国際組織プロフィンテルン第5回大会に、日本の女性として初めて演説を行い感銘を与えました。

スパイの手引きにより33年5月に逮捕されます。獄中で結核となり、まともな治療もされない中で35年12月18日、24歳の誕生日の翌日獄死しました。

参加者から「政府の非道な弾圧に対する憤りが語りから伝わってきた」「講演会に参加

して大変良かった。時の流れに

流されてはいけないことがたくさんある」「改めて藤田先生の講演を聞き、飯島喜美さんの不屈の精神を学ぶことが出来ました」「今、新しい戦前になりつつある時代、もつと力をつけ、喜美達の死をムダにしないように」……多くの感想が寄せられました。

桂壮三郎監督

飯島喜美映画化の

取り組みについて語る



(写真 小松 敦)

ラン(蘭)

ランは、世界に700属以上15000種、日本に75属230種があるとのこと。

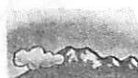


アロカシア

サトイモ属に似た植物で、有毒ではあるが、食用とされるものもあるという。



房総



アジア・太平洋戦争で多くの日本兵が、耐えられない衝撃と恐怖という過酷な戦場を体験し、復員後も心の傷に苦しんだ◆俳優の武田鉄矢さんの父は、中国戦線の復員兵だった。父は「子ども5人を抱えた月給1万円そこらの旋盤工なのに、給料をはたいてやけ酒をあおる。飲むと暴れてお膳をひっくり返すわ、鉄拳をふるうわ」。戦争の話をしても何の反省もしない親父が大っ嫌いだっただけ。『朝日新聞』2023年12月10日付◆あるとき親父が酒を飲んで、「渡河作戦中に流れ着いた戦友の遺体を踏んだそうです。博多弁で言うところ、靴がいぼる(埋まる)ったい、腹の中に」。内臓が腐ってズブッと腹に入るんでしょね。その悪臭と無残さ」を語った◆父の死後、「戦争のトラウマ」を抱えていた父に気づき許せる気がしたという。いまは「あんたもつらかったねえ」と言っただけと語ると語る◆今後、復員兵の「戦争トラウマ」に苦しむ人を二度とつくりだしてはならない。

(七)

## 治安維持法 国賠同盟

### 千葉県本部

## 事務局から

第10回千葉県本部理事会が3月19日、開かれました。会議開催に先立ちあいさつした小松実会長は、要旨次のように述べました。

「岸田政権は、自民党の派閥による政治資金パーティー収入裏金事件で行き詰まりながら、『物言えぬ社会』づくりを一層進めようとする危険な動きがあります。それは『特定秘密保護法』の経済安保版の『重要経済安保情報保護法案』です。」

秘密保護法は、秘密の範囲を防衛、外交、スパイ活動、テロ活動の4分野に限っています。それが、医療や食料など民間の経済・技術分野にも拡大され、何を秘密に指定するかは政府の一存で決められます。

秘密を扱う人の政治思想や病歴、飲酒の節度や経済状況

などの個人情報調査されま  
す。本人はもちろん、家族や同居人も調査対象になります。情報漏えいした場合は、最高5年の拘禁刑が科せられま  
す」と述べ、戦争にもつながる危険な法案は廃案にしまし  
うと強調しました。

### 1、会員拡大

◆3月は、年度末ということもあり退会者が多いので、このことを考慮してこれまで以上に、各支部主催の講演会、学習会、映画会などの参加者に入会をよびかけよう。

◆さらに、飯島喜美顕彰碑募金に協力をしていただいた方に加入をはたらきかける。

◆第41回全国大会めざす「特別機関」(4月〜6月)中の10名拡大挑戦者は小松実、渡邊喜代子、5名拡大挑戦者は、高橋妙子、小松敦、三浦眞清、守田達夫、伊藤政行、細沼敬二、七里一司の各氏。

### 2、国賠署名

◆各支部は、支部主催の学習会などで署名を集めるとともに、地域の民主団体の催しがあるときは、団体の許可をもらい会員が会場に出向き署名を集める。

◆各支部は、会員に10筆の署名集めを積極的に呼びかけよう。

### 3、映画「伊藤千代子」の 取り組み

◆県実行委員会事務局会議で決まった、南房総地域での上映会計画をすすめる。

### 4、報告事項

◆県同盟50周年記念として

県本部4冊目の書籍発行出版記念講演会を開催することを決定。書籍内容は、①小松実さんの関東ブロック交流会での講演②荻野富士夫さんの匠瑤市での犠牲者名簿発行記念講演③藤田廣登さんの論文。6月の同盟本部全国大会までに発行する。

◆国賠同盟と国民救援会で

実施している「歴史探訪の旅」の同盟の対応者は、竹内壮一氏に決まる。

◆海匠支部主催の「飯島喜美講演会」(講師・藤田廣登)が3月17日開催され、82名が参加。

◆3月12日、県本部三役会が開かれ、次回理事会提出の議案等について審議。

◆「不屈」発送が2月12日行われ、小松実、高橋妙子、渡邊喜代子、小松敦、七里一司の各氏が参加。

◆「全国女性交流集会報告集」「治安維持法と現代」(24年春号)が発行されるので普及に努める。

### 5、理事会などの日程

◆三役会と「不屈」発送は、4月11日(木)、5月14日(火)。

◆理事会は、4月19日(金)、5月21日(火)。

## 会員拡大

会員到達は、620名

3月に拡大は、海匝支部主催の「飯島喜美」講演会で2名、千葉市支部主催の「小林多喜二」上映会で4名、飯島喜美顕彰碑募金者への訴えで2名などで14名の拡大でしたが、退会が10名で増は4名、会員到達は62名になりました。

## 国賠署名

署名到達は、3612筆

3月の署名数は、349筆で到達は3612筆となりました。募金も寄せられました。ありがとうございます。

・3月5日、山武市

竹内栄太郎 5筆

『会員は、年間10筆の署名を

めざしましょう』

・3月5日、柏市

藤田廣登 49筆

・3月12日、銚子市

平野鐵太郎 1筆

・3月12日、柏市

吉永満夫 2筆

・3月13日、船橋市

岡田そう平 3筆

・3月17日、海匝支部

「飯島喜美」講演会 20筆

・3月19日、浦安市

元木美奈子 5筆

・3月31日、

市川浦安支部 14筆

・3月31日、

松戸鎌ヶ谷支部 60筆

・3月31日、

千葉市支部 190筆

飯島喜美顕彰碑

建立募金

募金総額は、

350万8600円

募金は3月17日現在、62

中国甘肅省の

奇観というべき

丹霞地質公園

5年ほど前に中国北部の甘肅省(かんしよくしやう)張掖(ちやうえき)市区から西約40キロのところにある「丹霞(たなか)地質公園」にきました。「丹霞地質公園」は、東西4

丹霞地形が発見されたのは2002年で一般公開されたには2008年からだそうで、中国の六代景勝地になっているそうです。2009年に張芸謀(チャンイーモウ)監督の映画「女と銃と荒野の麴屋」(原題「三槍拍案驚奇」)のロケ地になったといえます。

(写真と文 七里)

5k、南北10kにもわたる広大な断層地形郡です。「丹霞」といわれるように、紅色にかすみがかった色合いの地層が幾重にも重なり、太陽の光の具合によつて地形の表情が刻々と変わる様は絶景です。展望台に立って眺めたときはおもわず「すごい」と声をあげてしまいました。朝日や夕日の時間帯はさらに赤みが増すんだそうです。



# 少しやる気になった

## 東葛支部



竹内壮一

治安維持法国賠同盟  
東葛支部長

東葛支部は設立3年目を迎えました。伊藤千代子の映画会や治安維持法関連の学習会など、いくつかのイベントを通して東葛地域(柏、流山、野田、我孫子)に国賠同盟を知ってもらおう活動に取り組んできました。

現在も6月3日の総会・学習会に向けて、「飯島喜美を知っていますか(仮題)」という学習会の「講師」を自分たちがやるということ、5人の役員が玉川寛治さんの著書『飯島喜美の不屈の青春』を使って勉強会を続けています。自分たちが「講師役」を務めることによって、飯島喜美を、そして治

安維持法とその時代をより深く理解したい、という趣旨からです。

ところで東葛支部は国賠同盟の基本活動、国会請願署名を組織的に取り組むという点で、また組織の根幹となる同盟員を増やすという点で、先進的支部に後れをとっています。勉強会を続ける中でこの点を反省し、請願署名をメンバーまでに500筆、同盟員を6月の県本部総会までに3人という目標を設定しました。小さな目標設定ではありませんが、東葛支部は今、少しやる気になっています。

## ジンチョウゲ(沈丁花)

(写真 七里)



## 小田原城

城の高さは全国7番目

小田原城には何回かいったことがあります。5階の天守最上階まで登って展望デッキから眺めたのは2回目でしょう。石垣山、真鶴、三浦、箱根、丹沢方面を見ることができました。

小田原城は、室町時代に西相模に進出した大森氏が築いた城郭が前身とされていますが、城の規模や築城年は明らかにないそうです。

説明によると、1500年頃、伊勢宗瑞(北条早雲)が小田原に進出し、以後、北条氏が

5代約100年にわたって関東で勢力を拡大していきました。

小田原城は、関東支配の中心拠点として整備拡張され、豊臣秀吉の来攻に備え、城と城

下を囲む総延長9キロメートルに及ぶ総構の出現に至ってその規模は最大に達したという。

その後、秀吉の小田原攻めで北条氏は滅亡、大久保氏が城



小田原城

主になります。1870年(明治3年)廃城、関東大震災では全壊、1960年に天守閣が復興されたといえます。

1階の常設展示室に、全国の城の高さが展示してあります。それによると、全国で1番高い城は、大阪城(41.5m)、2番は名古屋城(36.1m)、3番は島原城(33.0m)、4番は熊本城(32.5m)、5番は姫路城(31.5m)、6番は小倉城(28.7m)、7番が小田原城で(27.2m)です。(写真と文 七里)

## 映画

### 「小林多喜二」

を観て

治安維持法同盟

千葉支部役員

林 和江

若い時に読売ホールで観たよ  
うな、とても刺激的な映画  
だったと思う。最初に拷問の  
映像が映し出され死へと……。  
1933・2・20築地警察署  
で29歳4ヶ月の生涯を閉じま  
した。

映画「小林多喜二」のワンシーン



小林多喜二は秋田県出身で  
小樽商在学中から創作を始め、  
志賀直哉を教授し、北海道拓  
殖銀行時代労働運動、社会主  
義思想に傾倒し『蟹工船』でプ  
ロレタリア作家になり、日本共  
産党に入党し麻布十番周辺で  
地下活動をつづけた。先般麻  
布十番界限をフィールドワー  
クした光景がよぎりドキドキ  
しながら見入ってしまった。

妻と暮らし始め、母のセキさ  
んと密会したり妻も勤務先で  
検挙されたり、常に官憲から  
逃げまわり……。なぜ労働  
者のため、世のための行動して  
いるのに弾圧されなければな  
らなかったのか、悔しくて悔し  
くてなりません。伊藤  
千代子”の映画を観ていた時も  
自分だったらどうしたろう  
か？こんなに強く生きられた  
だろうかと見えてならなかつ  
た。正しいことを正しいと言え  
ないそんな世の中に絶対した  
くありません！！  
獄中で虐待死400人超、警  
察署で拷問死93人。日本は

映画「小林多喜二」上映会であいつ  
する千葉市副支部長の小松実さん



特高警察・官僚は戦後責任を  
追及されず、わずかな追及の  
のち権力の中枢に返り咲き、  
先人たちが命がけで勝ち取っ  
てきた憲法や民主主義を歪め  
破壊する役割を果たしてきて  
いる。戦後特高官僚のうち54  
人もが国会議員になつてい  
る。この戦後史の異常な特質・弱  
点に焦点を当て、戦争と弾圧  
の歴史を徹底的に明らかにし  
責任を追及し正していくこと  
で、憲法とこの国の民主主義  
を本当に花開かせていくため  
治安維持法同盟に一人でも多

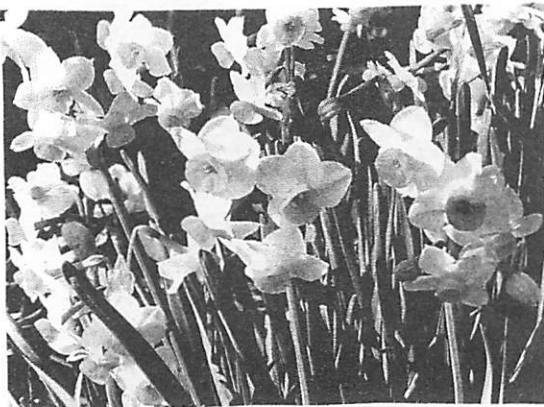
くの方が入会し運動をもつと  
もつと大きく育てていかなけれ  
ばならないと強く感じました。

(写真 渡邊喜代子)

### 水仙

中国で名付けられた漢名の  
「水仙」は、「仙人は、天にある  
を天仙、地にあるを地仙、水  
にあるを水仙」という中国の古  
典に由来しているそうです。水  
辺に育ち、仙人のように寿命  
が長く、清らかなという意味  
から名付けられたという。

(写真と文 七里)



## 読者の文芸

### 俳句

東京都杉並区 近藤秀雄

- 大枝騒ぎ小枝阿(おもね)る初風
- 重(かさ)なりて箒に重し銀杏黄葉
- 蝶に成るを待たず芋虫踏みつぶす
- また今度と気軽に言えぬふぐ料理

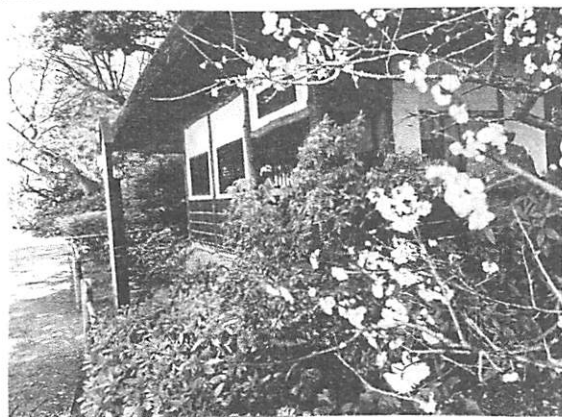
### 短歌

八千代市 野原隆志

- トランプのカード切るほど重なった  
診察券は内科も外科も
- 真新しい補聴器耳にそつと掛け  
さあこれからカラ元気出す
- 新春の真白き富士を遠望し平和を祈念喜寿になる年

銚子市 三浦好博

- イスラエルの飢餓作戦は進行中ガザの食料システム破壊
- 憲法を守らず税金納めない愛国者らの愛といふもの
- 憲法を守らぬ者が改憲と国を売る者が国防だといふもの
- 気を吐くは文春砲と赤旗砲のみなる今の我らの日本



### 梅

日本では6月6日が「梅の日」とされています。賀茂神社の例祭に梅が献上された故事に由来するとか。

今年の梅まつりは、2月10日から3月17日まででした。寒さが残る時期でしたが、一足早く春を感じさせてくれました。

(写真と文 七里)

- 溜め込んだ内部留保の五百兆

銚子市 真久絢子

吐き出せ吐き出せ能登復興へ

- 悲しみは『人生の親戚』とふ言葉

噛み締め行けば春はもうそこ

- 見舞いと友の差し出すターサイは

緑艶めく春の座布団

「日本共産党の五十年黨員が綴る『日本共産党とともに私の五十年史』が、2000年11月、日本共産党千葉県委員会(編集委員会代表 谷ヶ崎温)から刊行されました。

今回、このなかから杉浦正男さんが執筆されたものを紹介します。

## 日本共産党とともに

### 私の五十年史

(1)

船橋市、一九四六年

一月入党

(一九一四年八月二十日〜  
二〇二二年一月十二日)



杉浦正男

県委員会から五十年史を書けとの注文がありました。書き始めてみると生来愚鈍の私がいかにいろいろなことをやって来たなと思います。これも先輩の

全協組合員の柴田から科学的社会主義思想で教育され、後にはいろいろな曲折がありました。が党に固く結びつき、その指導の下に活動して来たお陰かなと思っております。

私は一九一四(大正三年)東京都深川に生まれました。父は砂糖会社に勤め、船で砂糖の運搬などをしていましたが、貧乏人の子沢山で兄弟姉妹九人という状況で、貧しいことこの上ない状況でした。

小学校を出るとすぐ近くの東京印刷KKに見習工として就職、夜間商工実務学校に通いましたが中退しました。東京印刷在職中に全協組合員の柴田隆一郎に会い、その後東京印刷の労働争議に関係するなかで二一歳の時労働組合運動にはいる様になりました。柴田は共産黨員であつたのかどうか判りませんでしたが素晴らしい共産主義者でした。当時私は東京印刷を退職し東京都内を印刷文選工として渡り歩いていたのですが、東京印刷争

議を後援し共に闘いました。

しかし争議は敗北し沢山の失業者が出たためこれらの失業者を助ける目的で、柴田らと親睦会和工会を作り職業の開拓につとめ、更にこれを発展させ出版工クラブをつくり東京都内印刷労働者の結集をはかりました。当時は天皇制政府が満州事件から北支、中支と侵略している最中でしたので全協は数度にわたる弾圧で解散させられ、合法左翼の全国無産党影響下の全評も、人民戦線に関係したという理由で弾圧解散させられるなど、軍国主義化の暗い時代でした。そのため出版工クラブは親睦会の形をとり組織を広げ、印刷地場産業の中心地にある東京の神田(千代田区)芝(港区)京橋(中央区)の中小零細企業の労働者を組織し一時東京都内一一〇工場の労働者一、五〇〇名を組織しました。戦時下一切の民主主義が特高の監視下におかれている時、これだけの会員を、多くの工

#### 戦時中印刷労働者の闘いの記録



杉浦正男さんの著書「戦時中印刷労働者の闘いの記録」出版工クラブ

場を対象に組織したことは奇蹟といわれました。活動は姿勢を低くして職場の若ものを中心に組織していったものでした。こうした活動の中で有能な幹部を中心に、科学的社会主義(当時はマルクス・レーニン主義)の学習を系統的に行いました。

戦局は中国の抵抗で日本にとり思わしくなく戦線の拡大補強路を絶つという名目で始めた対ソ作戦、ノモンハン事件で日本は大敗を喫し、更に南方に資源を求めて東南アジアに戦線を拡大しましたが戦局は泥沼状態に陥入り、ついに米英との戦争という大博賭を打つ状況に追い込まれました。

匝瑳市での『特高警察が踏み  
 じった人々の記録—千葉県編  
 —』出版記念講演会での講演

## 治安維持法の

### 成立と運用

—千葉県特別高等課『日本共産党千葉  
 県委員会 日本共産青年同盟千葉県準  
 備委員会 検挙概況』にふれながら—



小樽商科大学名誉教授

荻野富士夫

(7)

今までずっとこの文章に気づ  
 かなかったのですが、これを読  
 んだ時に非常にショックを受け  
 ました。治安維持法の悪法性  
 というものをその廃止された  
 時点で追及できていれば、多  
 分大きな変化が戦後の社会や  
 政治にあつたと思いますが、そ  
 れを逸してしまい、そのまま素  
 通りしてしまつた。まずは目の  
 前の生活を立て直さなければ  
 いけないということになれば、  
 治安維持法に追及がおよばな  
 かつたということはある程度わ

かるわけですが、でもやはり大  
 きなチャンスでした。

それでもほんのいくつかです  
 が、ちよつと煙が出たこともあ  
 ります。たとえば横浜事件に  
 おいて、その拷問をした警察官  
 を告発するということが戦後  
 まもなくありました。また、敗  
 戦直後には個人のレベルですが、  
 治安維持法あるいは特高警察  
 を問題にしなければならぬ  
 と発言している人もいます。そ  
 のきつかけの一つが三木清の獄  
 死です。なぜ敗戦後に三木を  
 むざむざ殺させたのかという  
 ことから、いまこそ治安維持法  
 や特高警察を問題にしなけれ  
 ばいけないと発言をした人はい  
 たのですが、それはなかなか大  
 きな形にはならないで消えて  
 しまつた。

その2、3年後に、逆コースの  
 流れが強まるなかで、能勢克  
 男は先のような警告を發しま  
 した。それから、もう70年近  
 く経っているわけですが、多く  
 の資料がなくなっているなかで、  
 それでも遅ればせではありま

### 千葉県特高課

#### 『検挙概況』を通して



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
 千葉県本部発行の『特高警察が踏み  
 じった人々の記録—千葉県編—』

千葉県準備委員会の検挙の様相  
 党県委員会・同盟県準備委員  
 会の結成と活動状況、検事局  
 送致の書類(「犯罪事実ノ概  
 況」「送致意見及証拠」など  
 が明らかにあります。それら  
 によつて、警察段階での捜査過  
 程や司法処分がどのようなも  
 のであつたのが具体的にわか  
 ります。

さきほどの「思想犯罪の流  
 れ」と対応させていくと、特高  
 警察のところ、まず「検挙」状  
 況がわかります。いままで私が  
 見た資料の中にはなかつた、い  
 くつかの新しい資料も含まれて  
 います。1932年5月頃から  
 内偵捜査は始まつていました。  
 スパイを入れたりとかは書いて  
 いませんが、8月頃にはある程  
 度情報を収集して、この人物  
 とこの人物というおおよその  
 目安がついてきている段階です  
 10月になるとキャップ会議開  
 催予定の情報を入手して、こ  
 の機会に一網打尽にしようと  
 準備したことがわかります。

(次ページにつづく)

(前ページのつづき)

もちろんこれは警察の内部文書ですので、ひとつは自分たちはこういうことをやったというのを誇るという意味もありますし、それからもうひとつは次の検挙のときに生かそうと、ある面では失敗やうまくいかなかったことも含めて書いておき、次の教訓にしようという意図もあつたと思われまふ。

10月中旬には具体的な日程もつかんだので、10月19日にやろうということになり、成田警察署の署長官舎を捜査本部にしてそこから出動しているわけですね。夜10時になつて検挙隊が目当てのところへ乗り込んで行く。そこでまず12人が検挙される。県内の他の地域にいる検挙予定の人物もそれぞれの警察署に連絡をして、一斉に検挙する。20日の午前5時には、全部で30数人が検挙されることになりました。

警察の捜査と取調は、11月26日に被疑者26人を千葉



地裁検事局に送致することで一段落します。比較的早い段階で終了しているように思われます。というのは、事前に内定情報がある程度つかんでいて、おそらく党員であるということもつかんでいるというところがあつたと推測されます。芋ずる式に1人1人先へ先へといかたちで検挙の網を伸ばしていったりとすると時間がか

かつたりするのですが、この検挙ではある程度警察が犯罪事実というようなものを確定させていたと考えられ、つかまつた人たちもあまりそこでは抵抗しないというかたちで取り調べが進み、11月26日には千葉地裁検事局に送致されます。今回の文書では、ここまでは読み取れます。

検事局への送付にあたり、一件書類が送付されます。そこには「犯罪事実の概要」があります。まず共産党に対する定義があり、「共産主義社会の実現を究極の目的として、其の手段としてプロレタリア革命に依りて我国家存立の大本たる君主制を廃止し、私有財産制度を否認する無産階級独裁政府の実現を図るを目的とし、コミンテルンの日本支部として佐野学等に依りて結成せられたる秘密結社……全国的に党の大衆化を図るに立到れり」とあります。「共産主義社会の実現を究極の目的として」云々、これはほぼどの県で

も、どの検事局でもこの定義が共通してきている、そういうものです。最初のころはバラバラの定義であつたのですが、次第にこういう定義として固まつてきました。

ついで君主制の廃止や私有財産制度の否認という共産党の目的を理解し、それを伝達する機関紙の役割を被疑者らは何れも知悉(ちしつ)しながら党に加入した、という論理になります。その後、被疑者がどういった個別の犯罪事実があつたかが列挙されます。誰を勧誘したとか、誰と会つてどういった話をしたかなどです。機関紙『赤旗』(セツキ)や『無産青年』がどのように配布されていたかということを重視していたことがわかります。

被疑者とされた多くは、千葉県のこの地域を中心とする農民が中心でした。1人だけ知識人が入っています。

(次号につづく)

日本共産党中央委員会は、「特高警察黒書」編集委員会(責任者 米原昶)を設置し、1977年6月に「特高警察黒書」を発行しました。

今回、日本共産党中央委員会出版局の了承を得て「特高警察黒書」の「Ⅲ 特高警察の弾圧の手口」を連載させていた

日本共産党中央委員会

「特高警察黒書」

編集委員会発行

## 特高警察黒書

「Ⅲ 特高警察の

弾圧の手口」

(1)

### 一 拷問の実態

#### (1) 山宣の国会での追及

1976年1月30日。第77通常国会・衆院予算委員会の国会中継で、多くの国民は、テレビの前に釘づけになっていた。共産党・革新共同を代表して

総括質問に立った日本共産党の不破哲三書記局長は、特高警察の拷問・虐殺など国民の自由を奪いつくした弾圧の実態を告発して、戦前の暗黒政治を、戦後30年以上になつた今日でも是認している自民党内閣の政治姿勢をきびしく追及した。その中につきのような質問と稲葉法務大臣の答弁がある。



不破哲三

不破哲三「もうすでに常識になつていますが、当時の特高警察は、あらゆる手段をつくして治安維持法をたてに弾圧を重ね、先ほど指摘したような虐殺まで生み出しました。この特高警察もまた治安維持法とともに戦後解体されましたが、このことについて法相がやはり日本の民主主義の見地からどう考えておられるか見解をうかがいます」

稲葉法相「治安維持法どうか、その法律下における特高警察の犯罪取調へのやり方とか、それらにたいするあなたの批判をどう思うかということ――(不破「特高警察が解体されたことについてですよ」)ええ、それは戦前の政治情勢や社会情勢とは非常に異なっておりまして、思想・表現の自由等制約が存していたことは事実であります。今日の時点で当時の司法行政一般について一概にその是非を論評することはいたしかねます。当時の捜査の過程における取調への仕方や裁判の実情等について種々ご指摘のような事実もあったかどうかについて、その経過の詳細を承知していないので、いま直ちにここでお答えするわけにはまいりません」

不破哲三「戦後の出発点における特高警察の解体、治安維持法の廃止は日本の戦後史としてきわめて重大な問題でした。それについて充分承知していないから明確な答えができないという人が、民主主義国家を名とする日本の法務大臣をしていることについて、私は重大な問題だと思っています。しかし、関連したつぎの問題に進みたいと思います。(質問中、稲葉法相が答弁席にでてくる)質問中ですからやめて下さい。委員長、私をさしたんでしょ」

荒船予算委員長「さしていません。指はさしたかもしれないが向こうをさしていた」

不破哲三「でたためをいいなさんな」

荒船予算委員長「稲葉法務大臣……」

稲葉法相「あなたは先ほどから、いろいろな人の名前をあげ警察が虐殺したなんてこといわれたが、突然いわれても、虐殺であつたのかどうかであつたのか、そういうことを答弁しかねる、答弁したくない。警察の権威にかんするもの、国の権威、民主主義の権威にかん

(次ページにつづく)

(前ページのつづき)  
 するものだ」

特高警察の拷問や虐殺があつた国民周知の事実を認めず、「承知していない」「答弁いたしたくない」という稲葉法務大臣の答弁は、いまだから47年前、1929年(昭和4年)2月8日、第56回帝国議会の予算委員会第二分科会で、山本宣治代議士が、前年3月の「3・15事件」当時の特高警察の全国的な拷問を調査して、その野獣のような実態を列挙して追及した「拷問・不法監禁に対する質問」にたいする政府側委員秋田内務次官の答弁と、ほとんど変わっていない。



山本宣治

山本宣治代議士は、47年前の国会で、つぎのような拷問

の実例をあげて、政府を追及している。

「私が今、具体的に持つております実例は福岡県、大阪府兵庫県、北海道、東京というように、ほとんど全国に亘つている例であります。無責任な讒誣(ざんぷい)ないことをいつて人をそしる(著者注)でないと証拠に、二三の例を申します。函館において被告人となりました福津正男という人間は、函館警察署におきましてコンクリート建ての洗面所か浴室のような所に、冬の寒空に真裸で四つ這いさせられて、そうして取調べに従事した刑事は、お前は労働者だから北海道の労働運動をするんだというので四つ這いにならせ、竹刀で殴つてそのコンクリートの上を這い廻らせた。それで三、四十回も、つまり昏迷(こんめい)に陥るまで竹刀で哀れなる青年の尻を叩いて走り廻らせたと例が、函館の裁判で現れてまいりました。それから

静秀雄という被告は、これはまた竹刀で繰返し殴られて、そうして自分はすでに悶絶(もんせつ)した。ふと、眼がさめてみたら枕元に線香が立ててあつた。すなわち責殺したものと思うた人間が、さすがに死んだ者の怨(うら)みが怖ろしいか冥福(めいふく)を弔(とむら)うためにその死体と見られた者の枕辺に線香を立てて置いた。こういうふうな実例が多くあります。用いられた道具は、たとえば鉛筆を指の間に挟(はさ)み、あるいは三角型の柱の上に座らせて、そうしてその膝の上に石を置く。あるいは足をしばつて逆さまに天井からぶら下げ、顔に血液が逆流し、そうして悶絶するまで、うつちやらかしておく。あるいは頭に座布団をしぼりつけて竹刀で殴る。あるいは胸に手を当てて肋骨の上を擦(こす)つて昏迷に陥る。あるいはまた生爪を剥がして苦痛をあたえる。というような実例が到(いた)る所にある福岡において、あるいは大阪に

において、あるいは北海道において、被告が口を揃(そろ)えていうことが偶然暗合しているかという、取調べの任にあたつた人間は、いつも顔見知りの高等係ではなくて、泥棒やスリを相手にしている司法係や治安係という腕節の強い人間がそこへ来(こ)ていうようには、この取調べにあつてお前方三人、四人殺したところで上司は引き受けてくれる。昭和の甘粕(あまぐさ)からウンとやる、というようなことをいつてやつた。

(次号につづく)

## 菜の花

(写真 七里)

